

防災推進国民会議の 今後の活動方針（案）

令和7年12月18日

防災推進国民会議決定



1. 全体会議

- 議員が属する団体・機関の防災に関する取組に関する情報共有や政府との共催事業の成果報告、意見交換を行うため、毎年少なくとも1回、全体会議を開催する。
- 防災推進国民会議及び取組内容の国民における認知度向上に向けた取組を実施。
 - ・ 議長メッセージや取組内容を紹介するビジュアルコンテンツの制作・発信
 - ・ 地方版「防災推進国民会議」（～地域課題と向き合う～）【仮称】の開催
⇒ ぼうさいこくたい2026開催地（鳥取県）等で開催 等

2. 国民の防災意識向上等

- 国民の防災意識の醸成・向上を図るための事業を行うとともに、一般国民向けの防災に関する普及啓発資料を作成・活用する。特に、日頃からの備えの重要性等について、より一層の普及啓発に努める。
 - ・ 防災推進国民大会（通称：ぼうさいこくたい）の開催
（令和8年10月17日（土）～18日（日）、鳥取県倉吉市で開催予定）



(参考) 防災推進国民大会 (ぼうさいこくたい) 2026開催概要

ぼうさいこくたい の目指すもの

- 国民の防災意識の向上、様々な防災活動への理解促進
- 防災活動に取り組む各界各層の連携の促進
- ぼうさいこくたい開催を契機とした防災活動の活性化、各地域の防災力の向上

第11回 (2026年) ぼうさいこくたいは、鳥取県で開催 (2025.9.7公表)

鳥取県 開催の意義

- 鳥取県は、平成28年の鳥取県中部地震をはじめとする災害を経験。
- 平成28年の鳥取県中部地震を契機に、毎年、地域が主体となって、震災のマイナスをプラスに転じ、地域の未来を築いていくことを目的に「福高祭 (ふっこうさい)」を実施する等、復旧・復興や防災の普及啓発に係る様々な活動を実施。こうした取組をぼうさいこくたいを通じて発信することは、国内外へ力強いメッセージとなる。

開催場所

エースバック未来中心、
鳥取県立美術館周辺(倉吉市)

主 催

内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議

開催時期

2026 (令和8) 年
10月17日 (土)・18日(日)

出展タイプ

セッション、ワークショップ、ブース展示、ポスター
展示、屋外展示、オリジナル企画等

平成28年鳥取県中部地震
崩壊した住家



福高祭
バルーンリリースセレモニー





3. 政府の事業等への協力

政府その他の防災関係機関が実施する、国民の防災意識の醸成・向上を図るための事業、活動等について、事業等の共催、周知（告知）、参加等、可能な範囲で積極的に協力をする。

（例）

- ・ 8月26日「火山防災の日」を中心に火山防災の普及啓発活動
- ・ 11月5日の「津波防災の日」「世界津波の日」を中心に津波防災の普及啓発活動
- ・ 「防災週間」、「ボランティア週間」 等

4. 「TEAM防災ジャパン」ポータルサイトを通じた情報発信

「TEAM防災ジャパン」のポータルサイトを通じて、議員が属する団体・組織の防災に関する取組を積極的に発信する。